



平成29年度 第6回 きらっと光る人生を考える研究大会

テーマ 「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」

人は皆、その望む地域で、「人としての尊厳ある、きらっと光る人生」を送りたいと願うものである。

しかしながら、その人に障害がある場合、そこに何らかの福祉的支援が必要となり、公的制度による支援が選択されることになる。

この場合、それぞれの地域において有効かつ選びたい社会資源が十分にそろっており、その組み合わせ利用の結果、「利用者満足」が得られることが重要である。

本研究大会は、平成24年度から『付帯決議の「小規模入所施設」とは、国はいったい何を考えているのか?』からスタートし、会を重ねて具体的な議論をしながら厚生労働省及び国会議員へ法施行後3年の見直しに対して、毎年、提言をし続けてきた。

平成27年度には「地域生活支援拠点等整備推進モデル事業」が公募され、全国で9か所の地域で協議会を設置し検討を重ねその内容が発表された。本研究大会ではそれらの内容を参考にしながら、全国のそれぞれの地域での地域生活支援拠点等事業について議論し、更には条件整備のための課題を拾い出しそれぞれの地域で考える時の参考になるようにと整理をしてきた。

昨年度の研究大会で、従来の入所施設の役割を地域生活支援拠点事業の一つの資源とすることに整理ができた。さらに、高齢期の大きな問題であった65歳問題も国の施策として整理された。

しかし、第4期障害福祉計画で地域生活支援拠点事業の整備計画の申請が少なく、次の第5期障害福祉計画へ持ち越されることになった。必要な資源なのに足踏みするのは何が問題なのか。

考えられることは、地域で取り組むときの環境条件の不整備（地域の問題としての共有化）と次の3点であろうと思われる。

- 1) 事業を検討するための地域での環境条件整備の問題と協議会の立ち上げ方の問題
- 2) 事業を整備するための施設整備費の不十分さの問題
- 3) 事業で必要となる24時間型支援に対する運営費の不透明さの問題

以上の内容から考えて、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障害者の生活を地域で支える地域生活支援拠点等事業の考え方をさらに整理していきたい。しかし、最近「我が事・丸ごと・地域共生社会実現本部」からの動きが出て、その中に取り込まれるような感じを持ったが、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉等はこれまでどおり進めていくことを確認した。

障害のあるすべての人が「きらっと光る人生」を送るためには、すでに制度化されているもの、これから制度の中で具体化されようとしているものにとどまらず、「必要とされるもの」をしっかりと明らかにしていかなければなりません。

この研究大会では、テーマである「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」ための「すばらしい発想」、「発想を生かし推進するエネルギー」、「着実に実行していく実践力」といったものについて議論し、そして、それが政策・行政にどのように作用していくべきかについて共に考え、法施行後3年の見直しに対して提言することを目的としたい。

主催

広島県知的障害者福祉協会

広島県手をつなぐ育成会

日時

平成29年12月16日(土) 10:00~16:10

場所

広島県健康福祉センター(8階)(広島県地域保健医療推進機構)

〒734-0007 広島市南区皆実町1-6-29 TEL (082) 254-7111

参加費

3,000円(昼食代含まず)

・当日、お弁当の販売があります。(当日の朝、受け取ります。)

参加者

知的・発達に障害のある人とその家族・親の会の会員や関係障害者・福祉サービス事業所・学校・作業所、関係行政機関、雇用関係事業所、民生委員児童委員及びボランティアなど福祉に関心のある人たち

申込〆切

平成29年11月30日(木)

会場の都合で250名になり次第締め切らせていただきます。

日程

9:30 10:00 10:10 11:10 12:15 13:15 14:15 16:00 16:10
11:15 14:20

受付	開 会 行 事	行政説明	実践報告		昼 食	障害者福祉の 展望		シンポジウム	閉会行事
			そ の 1	そ の 2		そ の 1	そ の 2		

内 容

行政説明（10：10～11：10）（質疑なし）

テーマ：「生活場の現状と今後の方向性」

講師 うちやま ひろゆき
内山 博之 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長

実践報告（その1）（11：15～11：45）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」

発表者 たかざわ しげお
高澤 茂夫 栃木県 社会福祉法人 とちのみ学園 施設長

実践報告（その2）（11：45～12：15）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」

発表者 むらかみ かすこ
村上 和子 大分県 社福 シンフォニー 理事長

障害者福祉の展望（その1）（13：15～13：45）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の展望

発表者 たかぎ みちよ
高木 美智代 衆議院議員、厚生労働副大臣

障害者福祉の展望（その2）（13：45～14：15）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の展望

発表者 えとう せいいち
衛藤 晟一 参議院議員（首相補佐官）、社会福祉推進議員連盟会長

シンポジウム（14：20～16：00）

テーマ：「安心できる親亡き後の生活場を考える」

進行 そえしま ひろかつ
副島 宏克（広島県手をつなぐ育成会 会長）

シンポジスト

えとう せいいち 衛藤 晟一（参議院議員 自民党） たかぎ みちよ 高木 美智代（衆議院議員 公明党）

うちやま ひろゆき 内山 博之（厚生労働省 障害福祉課長）

むらかみ かすこ 村上 和子（社福シンフォニー理事長） たかざわ しげお 高澤 茂夫（社福とちのみ学園 施設長）

申し込み

(1) 申込先 広島県手をつなぐ育成会 FAX (082) 537-1778

(2) 締め切り 平成29年11月30日(木)

※会場の都合で250名になり次第締め切らせていただきます。

(3) 申し込みの方法

① 所定の申込票をFAXでお送りください。

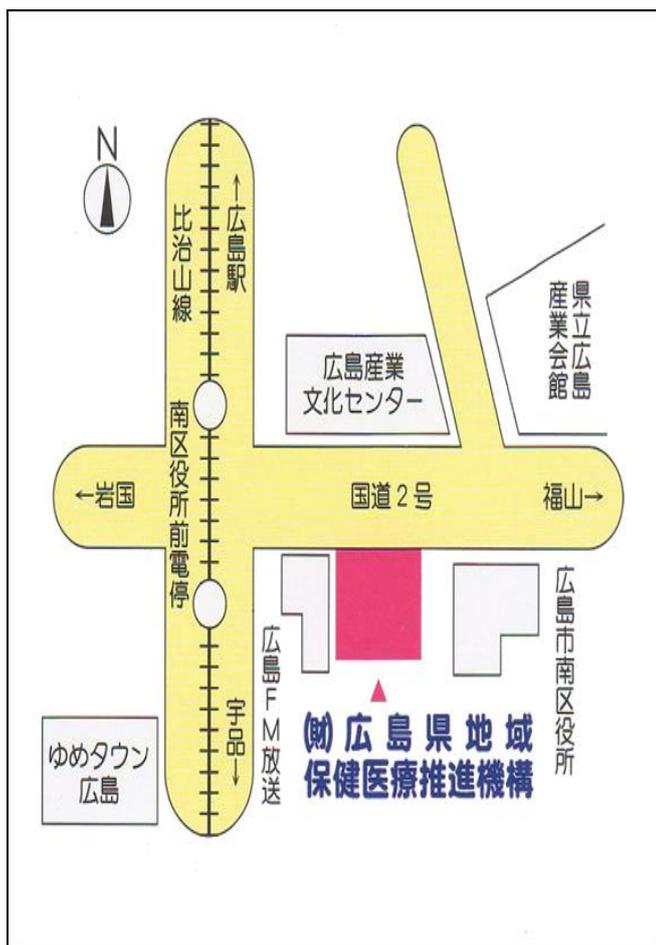
② 参加費(3,000円)は下記口座にお振込みください。

※振込手数料は各自でご負担ください。

(振込先預金口座名義)

金融機関	ゆうちょ銀行
口座記号番号	01300-9-27521
加入者名	一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会

交通



〒734-0007 広島市南区皆実町 1-6-29

広島県健康福祉センター 8階

(地域保健医療推進機構)

▼市内電車

広島駅から比治山(ひじやま)線5番にて「南区役所前」下車。

▼バス

【広島電鉄】

広島駅から大学病院行き、西広島駅から大学病院・旭町行きで「比治山橋」または「皆実町一丁目」下車。
横川駅から仁保方面行きで「皆実町一丁目」下車。

【広島バス】

広島駅から旭町行きで「比治山橋」下車。
横川駅から大学病院行きで「比治山橋」または「皆実町一丁目」下車

※【車】駐車場は、ありません。

近くの有料駐車場に駐車してください。

平成29年度 第6回 きらっと光る人生を考える研究大会

参加申込票

FAX (082) 537-1778

所属名	
電話番号	() -
所在地(住所)	〒 -
参加者名	1
	2
	3
	4
	5

- ※ 申し込み締め切りは11月30日(木)とさせていただきます。
- ※ 会場の都合で250名になり次第締め切らせていただきます。
- ※ 複数で申し込みされる場合、代表者の電話番号、所在地(住所)を記入してください。
- ※ 参加者が多い場合はコピーしてください。
- ※ 参加費(3,000円振込)の確認ができた人から、**参加票(はがき)**をお送り致します。
当日、参加票を受付で提出してください。

問合せ

(一般社団) 広島県手をつなぐ育成会 広島市西区打越町 17-27
TEL (082) 537-1773 FAX (082) 537-1778
e-mail kenhonbu@magic.odn.ne.jp

(担当;事務局 寺尾 隆典)